

連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1331 2025/04/24 (THU)

発行 広島高校連絡会事務局

Email renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)

5月3日、78回目の憲法記念日～憲法を前へ～ やらなければならないこと！やっではいけないこと！

4月20日呉母親連絡会実行委員会で学習会

先週20日の日曜日、呉の母親連絡会実行委員会の学習会で話をしました。今年で5年目になります。5年も続いているということは「嫌がられていない」ことかな…。今年の第1回のテーマは、「アメリカってどんな国？トランプ2.0を考える」でした。大統領就任間もなくの2月に考えたテーマでしたが、トランプの毎日の“ちゃぶ台返し”で旬な話題になりました。最低の人間が世界最高権力をもつとどうなるかを考えてみました。トランプの本質は“恣意”。ディール＝取引とよく言われますが、取引ではなく“脅し”です。荒唐無稽に見えますが、アメリカの“本音”が見えます。さて5年間のテーマを並べてみます。

2021年4月 学術会議委員の任命拒否問題

2021年6月 選択的夫婦別姓問題

2021年7月 「今さら聞けない 第9条」 憲法第9条と自衛隊明記論

2022年5月 ウクライナ危機！ やっぱ第9条

2022年6月 「象徴天皇」ってなあ～に 憲法と「天皇の制度」を考える

2022年7月 危ない！ 改憲の現在地 緊急事態条項&自衛隊明記論

2023年3月 安保3文書～危険な大転換 できないことをできるようにしちゃいました

2023年4月 なぜ給食費は無償でなければならないの？

2024年4月 イスラエルって国は何なのだろう！？私たちの目の前でジェノサイドが起こっている！

2024年6月 維新の「身を切る改革」を斬る！～投票に行こう！選挙で変えよう！

まず自分のパワーポイント作成のスキルアップを感じます。写真やグラフなどを使って毎回生徒に授業できたら、ずいぶんわかりやすい授業になっただろうと思います。でも何を伝えるべきかはコンピューターは教えてくれない。やはり授業者である教員の視点やねらいが授業の大きな幹なんだということは言うまでもありません。デジタル教材はあくまでも補助であることをあらためて感じる学習会でした。もう1つ気づいたことがあります。5年間取り上げたテーマがどれも憲法上の長年の懸案事項であるということ。そして少数与党の中で、今国会で前へ進める可能性が出てきているということです。もちろん自民党のサボタージュと国民民主党や日本の維新の会などの勢力が自民党、公明党の与党をアシストしないという条件はありますが…

いつやるの？今でしょ！！

◆ 学習会のテーマ以外にも、今国会の重要なテーマが「企業・団体献金の禁止」があります。1994年に当時の与党の代表細川護熙と野党第1党自民党の総裁河野洋平の間で約束したことです。この二人の合意には小選挙区制の導入や政党助成金の交付など大きな欠陥はありますが、企業団体献金の禁止を決めて31年たつのです。今やらなければいつやるの！

◆1996年法務省の諮問機関法制審議会が「選択的夫婦別姓」導入の民法改正を答申しています。あれから29年。すでに問題は詰んでます。今やらなければいつやるの！

◆1951年日本共産党の岩間参議院議員が、憲法26条の「義務教育は無償である」とはなにかを質問し、文部省は給食費も将来的には「無償」の対象であるという答弁をしています。あれから74年。今やらなければいつやるの！

◆皇室の問題も今国会の重要なテーマ。日本国憲法の「天皇の制度」を持続可能にするためのあり方が審議されます。皇族数が減少するなか、待ったなしの課題です。現実的にも、制度を維持する上でも“愛子天皇”＝女性天皇を認める方向、英王室の長子継承をならうしかないとは思いますが、抵抗勢力の壁は厚い？日本社会にジェンダー平等を前進させ

◎ 教えるとは、「希望を語る」こと。学ぶとは、「誠実を胸に刻む」こと。(ルイ・アラゴン)

る観点から も注目です。

◆しかし、やらせてはいけないテーマもあります。学術会議法改悪です。

平和公園内に 日本人初のノーベル賞受賞者 湯川秀樹の歌碑があります

まがつびよ ふたたびここに くるなかれ
平和をいのる人 のみぞここは

＊「まがつび」とは、災害・凶事を起こす神。

「中間子理論」を確立した日本初のノーベル賞(物理学賞)受賞者湯川秀樹は、1954年アメリカの水爆実験に衝撃を受け、以後、世界科学者会議(パグウォッシュ会議)を開催するなど核兵器と戦争の廃絶を訴え続けました。「私は、真理の探求ということを誇りに思うし、自信を持っているし、私は一生それを貫いてきた。何の悔いもない。けれど、8月6日のあの事件を聞いたときに、科学者は科学者としての自分に対する責任があることを知った。」と湯川氏自身述べています。湯川秀樹は、戦時中1944年からウランの軍事利用や熱線吸着爆弾の研究に加わりました。日本学術会議は1949年、それまでの科学者の態度の反省をふまえ、政府から独立して、科学を国民生活や産業に反映させることを目的として設立されました。湯川秀樹は日本学術会議初代の副会長です。



「日本学術会議会員の任命拒否」は学術会議つぶしのはじまりだった！

2020年10月に菅首相は突然、6人の会員候補者の任命を何ら理由も明らかにせず拒否しました。そもそも日本学術会議は、日本学術会議法により、内閣総理大臣の所轄のもと、政府から独立して職務を行う「特別の機関」です(同法3条)。「わが国の科学者の内外に対する代表機関」(2条)とされ、210名の会員によって組織され、任期は6年で、3年ごとに半数改選。学術会議が候補者を選考し、内閣総理大臣に推薦し(17条)、その「推薦に基づいて、内閣総理大臣が任命する」(7条2項)。学術会議が推薦した新会員候補者を内閣総理大臣が任命しなかったケースは、過去にはありません。

学術会議は、科学者が戦争協力したことに対する反省から、1950年声明で、「…戦争を目的とする科学の研究には、今後絶対に従わないというわれわれの固い決意を表明」しています。1967年にも「…戦争を目的とする科学の研究は絶対にこれを行わないという決意」を表明。そして安倍政権の安保法制のもと軍事研究の圧力の中で2017年3月に1950年、1967年の「声明」を追認する声明を出しています。

政府は、任命拒否の問題を「学術会議のあり方」の問題にすり替え、「学術会議解体法案」を強引に推し進めようとしています。

「学問」の軍事動員を許さない！

今国会で審議されようとしている法案の問題点はどこにあるのでしょうか？

1 現行の学術会議の前文には「科学者の総意のもとに、わが国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献する」という学術会議設立の原点が記されていますが、今回の法案ではこの前文をそっくり削除。

2 現行法の「独立して職務を行う」という規定を削除

3 今回の法案では、首相任命の「監事」において業務を監査。会員外の委員からなる「評価委員会」「会員選定助言委員会」などが会員選定に「助言」できるようにしています。

4 法人化されれば国庫負担はなくなります。安定した財源基盤が確保できなくなり、資金を集めるために政府の意向や産業界の利益におもねる助言をせざるを得なくなります。現在の「国立大学」のようになるのです。

要するに学術会議の独立性・自律性を破壊し、学術会議を解体しようとするものです。この背景には「官民の先端技術研究の成果の防衛装備品の研究開発等への積極的活用、新たな防衛装備品の研究開発のための態勢強化を進め」「広くアカデミアを含む最先端の研究者の参加促進等に取り組む」(「安保3文書」)とする国家戦略があります。

憲法23条「学問の自由はこれを保障する」は、国民一人一人が自由に学問をしてもいいということに限られることではありません。学問研究が権力から検閲を受けたり、強制されてはいけないということが本質的意味です。そのためには、学問の府である大学の自治が保障されること。そして学者研究者のアカデミーである“学者の国会”といわれる学術会議の独立性が担保されることが重要なことなのです。

◎ 教えるとは、「希望を語る」こと。学ぶとは、「誠実を胸に刻む」こと。(ルイ・アラゴン)

トランプ政権の露骨な大学攻撃～日本も他人事ではない！

トランプ大統領のやりたい放題の矛先は教育，大学にも向けられます。トランプ政権は，ガザ地区を攻撃するイスラエルに抗議する学生・教職員の運動や多様性・公平性・包摂性（DEI）教育を重視する大学を敵視。政府からの補助金削減の脅しで，主要大学に政策を変更するよう圧力をかけています。名門ハーバード大学にも▽DEI教育の停止▽「反ユダヤ主義」に関与した個人の通報▽職員や入学者のデータ共有などを要求。アラン・ガーバー学長は政権側の要求を拒否。政権側の要求は表現の自由などを定めた憲法に違反し「大学の自由への侵害」だと批判。「本学は自らの独立性を譲り渡すことはしないし，憲法上の権利を放棄することもしない」と表明しました。ハーバード大学の発表を受けて，トランプ政権は報復として計22億6000万ドル（約3200億円）の補助金や契約の凍結を発表しました。

トランプ政権は，科学研究に対する政府の助成金支出を大幅にカットする方針も打ち出しています。これに対して2000人を超える全米科学者が「科学界への攻撃をやメロ」の公開書簡を出しています。学術会議への独立性をそぐような法案が審議されている日本の国会を考えると，トランプの無法は決して遠いこと，他人事ではないのです。憲法記念日を前に強く感じます！！

*連絡会ニュース(2017年3月9日)「戦争する国づくり＝軍学共同づくりを許さない(1)」

連絡会ニュース(2017年3月16日)「戦争する国づくり＝軍学共同づくりを許さない(2)」連載の拙文があります。参考にしてください。

(本間 英次)



▼「不適切にも程がある」は，2024年1月から3月までTBS系「金曜ドラマ」として放送され，話題をさらった宮藤官九郎の脚本によるドラマだった▼昭和のダメおやじがタイムスリップして令和の時代に来る。そこでの「不適切」行動と発言が，次々と問題を起こすが，令和時代にあれもこれもハラスメントとして排除され，同時に失われた「本気」や「誠意」そして「真心」など大切なものに気づかされるというストーリーだった▼日本テレビ系で始まった「なんで私が神説教」は，とある私立学校に，心ならずも赴任した，やる気のない教師が，心ならずもじめや不正，そして逃げ腰の学校体制に対して，ここでも「本気」の「正論」と行動で，荒れるクラスを更には，(多分)学校を立て直すストーリーです▼今，セクハラ・パワハラについて『受けた側が判断する』権利を持っている」と定義されています。でも，これって，何処かで聞いた覚えがありますよね。そうです。「解同」が「差別事件」をでっちあげるときの「論理」そのものでした▼対する私達は，そのような経験主義で「差別」を定義するな。「科学的客観的に捉えよ」と批判して，具体的な条件①侮蔑的な気持ちをもって，②具体的な個人に向かって③歴史的に被差別部落を意味する用語を用いての発言である。という条件を満たしたとき「差別発言」とするべきだと主張してきました。その論理は，今のハラスメントにも，適応出来るものと，確信しています▼現在の経験主義の流れは，やがて克服され科学と愛に基づいた運動の広がり，心優しい人々の輪を拡げて行く時代が到来することを，願っています。

2025/04/24